MIXI GROUPのAI推進

AI EMPOWERED COMMUNICATION FOR EVERYONE

コミュニケーションを次の次元に高め、「心のつながり」と「驚き・喜び」を最大化するAIへの取り組み



取締役
上級執行役員
村瀬 龍馬

AIは今や、業務効率化にとどまらず競争優位の源泉であり、未来の成長を左右する極めて重要な要素です。それを踏まえ、当社では全社横断的にAI活用を加速・高度化させています。すでに99%の従業員がAIを業務に取り入れるなど、AI活用は当社にとって日常的なものとなりつつあり、コスト効率の改善だけでなく、サービス品質の向上にも確かな手応えを感じています。さらにAIを活用した新たなサービスの創出にもチャレンジしており、コミュニケーションにAIを掛け合わせ、当社ならではの体験価値を生み出していきたいと考えています。ここでは、当社におけるAI活用の現状と、現在推進しているAI戦略の概要についてご紹介します。

MIXIのAI活用のこれまで

当社では、これまでもAI活用に取り組んできました。「モンスターストライク」のゲームバランス調整のためのプレイデータ分析など、初期はゲーム領域での応用が中心でしたが、「家族アルバム みてね」では、年間数百万枚の写真解析による1秒動画の自動生成や顔検出モデルの導入によるユーザーごとの写真振り返り機能を実装しています。スポーツの領域でも、公営競技向け自動編集システム「BreezeCast」を独自開発し、年間2万レース以上のハイライト動画自動編集を実現しました。こうした事業ごとの取り組みを継続しつつ、2023年からは生成AIの急速な進化を受けて、本格的な検証に乗り出しました。

2023年から2024年にかけては、検証期と位置付け、社内にAIDX（AI相談窓口）を設置し、全社からのAI案件の相談やアイデアを一括で受け付けました。結果的に150件以上の相談が寄せられ、多くのPoC（概念検証）や試験運用を実施しました。

2025年からは、経営層からのトップダウンというかたちで導入期に移行しています。経営陣や事業部門長からなる「AI委員会」を設置し、各部門のAI推進担当としてAIアンバサダー制度を導入することで、AIDXやAI委員会との連携を図っています。また、AI導入に向けたリーダーシップを強化すべく管理職向けのAI研修も実施しています。



主要プロダクトや業務フローにおけるAIの本格的導入に向けて、私自身が管掌して全社横断のAI戦略を推進しています。技術部門だけでなくデザイン、マーケティング、企画、管理まで含めた全社員がAIを日常業務で使う文化を根付かせるべく、社内体制の整備に努めています。

AI戦略のビジョンと方針の概要

当社はAI戦略の旗印として、「AI Empowered Communication for Everyone」というビジョンを掲げています。導入期にあたっては、AI活用促進を全社的に推進していますが、その目的は業務効率化にとどまるものではありません。本来の目的は、人と人をつなぐコミュニケーションをAIでさらに豊かにし、「ユーザーサプライズファースト」というMIXI WAYに則って、ユーザー体験に飛躍的な深化をもたらす新しい価値を創出し、ユーザーの皆さまに驚きと喜びを届け続けることです。

競合他社もAIを活用してくる状況にあって、世界的なAIの技術革新に後れを取ることなく、スピード感を持ったサービスのアップデートにより競争力を維持するためには、AIへの積極投資と先行導入は不可欠です。AI戦略推進は、当社グループの目指すべき価値創造につながる未来への成長エンジンだと位置付けています。さらに、既存事業の強化・高度化にとどまらず、新規事業の創出や海外への事業展開においてもAI活用を視野に入れています。

また、AI活用を推進する上で、ガバナンスとリスク管理の強化は避けて通れない要素です。当社では、社内横断のAIリスク委員会を設置し、法務・知財・情報セキュリティ・コンプライアンスといった関連部門がチームを組んでAI導入のレビューを行っています。さらに、AI戦略をESG/サステナビリティ方針とも統合的に連携させています。

このような多面的な取り組みを通じ、MIXI GROUPでは、単なる「便利さ」ではなく、「心のつながり」と「驚き・喜び」をAIで最大化するとともに、企業グループとしての継続的成長と社会への貢献を同時に実現していきたいと考えています。